

高齢者入所施設の事故データ調査

～見えない時間・見えない場所で起きる事故～

株式会社エスアールエムは京都で30年に渡り保険代理店として保険の販売に携わっています。一般的な生命保険、損害保険だけではなく、特定の業界に特化した、特色のある保険にも取り組んできました。

特に、福祉事業を行う事業所が、事業の内容に応じて必要なプランを選択していただく福祉事業者総合補償制度「まごころワイド」は多くの高齢・障害・地域の事業所様にご利用いただいております。2023年度では1000を超える団体様にご加入いただいております。

さて、昨年（2022年11月）に、私たちがこれまでに取り扱ってきた高齢者入所施設での事故についての分析を行いました。結果、利用者の方が動き始める時間帯の転倒・転落事故が多いということがわかりました。そして、本年も同様に、前回の内容を踏まえつつ高齢者入所施設の事故についての集計・分析を行いました。

2025年には「超高齢化社会」の到来が予想されています。福祉施設の需要は今後より一層高まることと思います。そのような時勢の中で、本リリースが福祉事業を行う方の事故予防に資することができれば幸いです。

調査概要

調査方法：社内データの集計

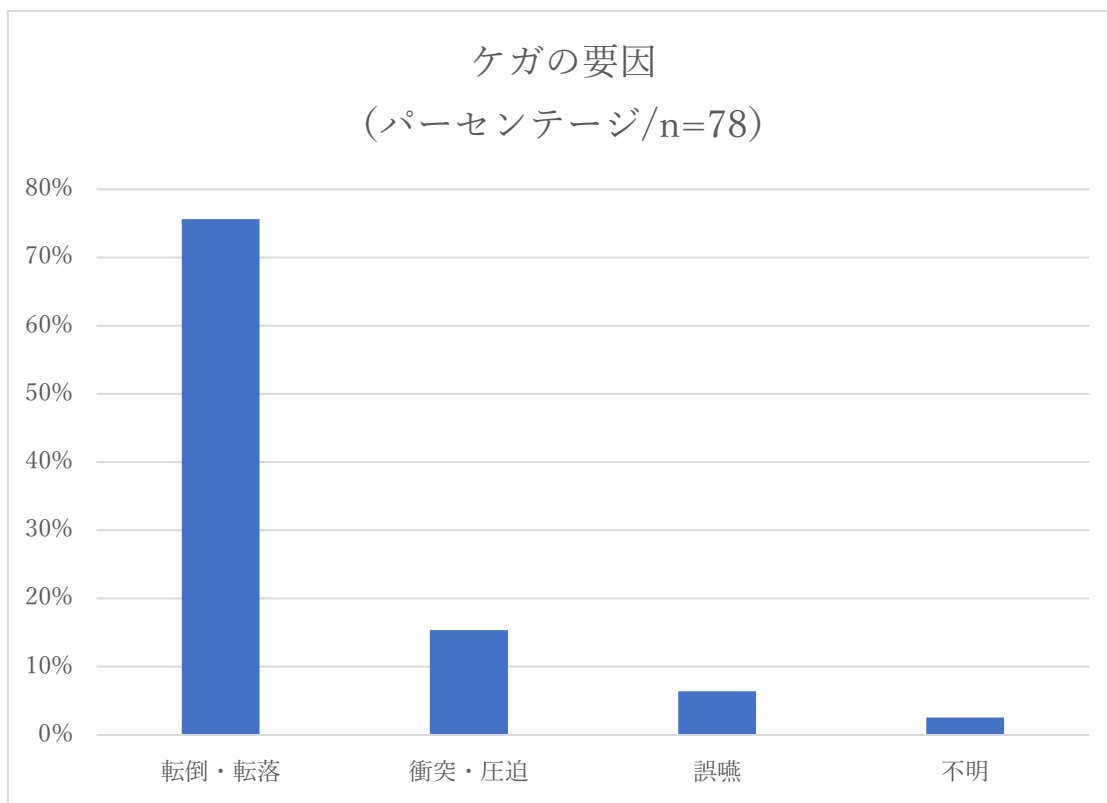
調査対象：福祉の保険『まごころワイド』で取り扱った事故の内、2022年4月～2023年10月に掛けて高齢者の入所施設で発生した傷害事故（78件）

調査主体：〒604-8151 京都市中京区蛸薬師通烏丸西入橋弁慶町227 第12長谷ビル6F-A

株式会社 エスアールエム 福祉の保険 係 今村・新谷

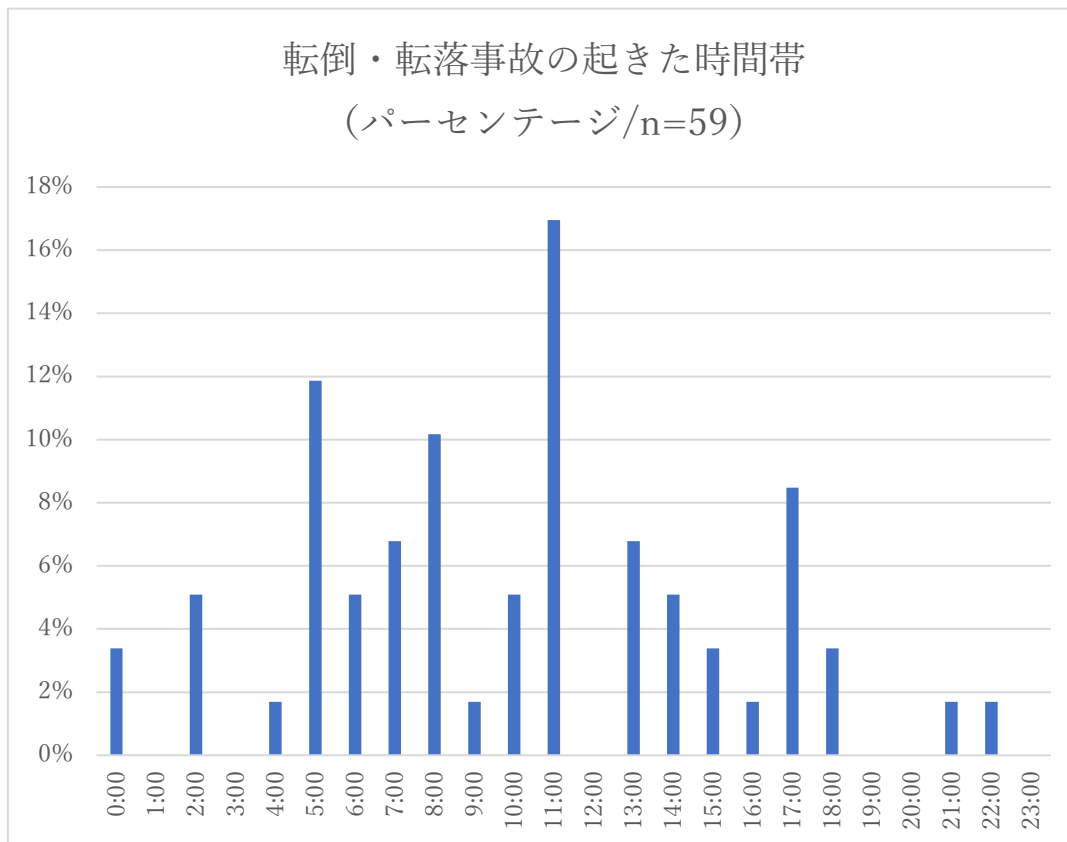
TEL：075-255-0883 FAX:075-255-0882

全体の事故件数のうち、最も多い事故は『転倒・転落事故』



全 78 件の事故の内、59 件（約 76%）が転倒・転落を原因とする事故でした。これは、前回（2022 年 11 月 10 日プレスリリース/2019 年 4 月～2021 年 3 月までの事故を集計）の集計結果（126 件/約 73%）と近い結果となりました。どのような状況で転倒・転落事故が起きているのかを知るために、より詳細な分析を行いました。

転倒・転落事故の詳細-事故の起きた時間帯



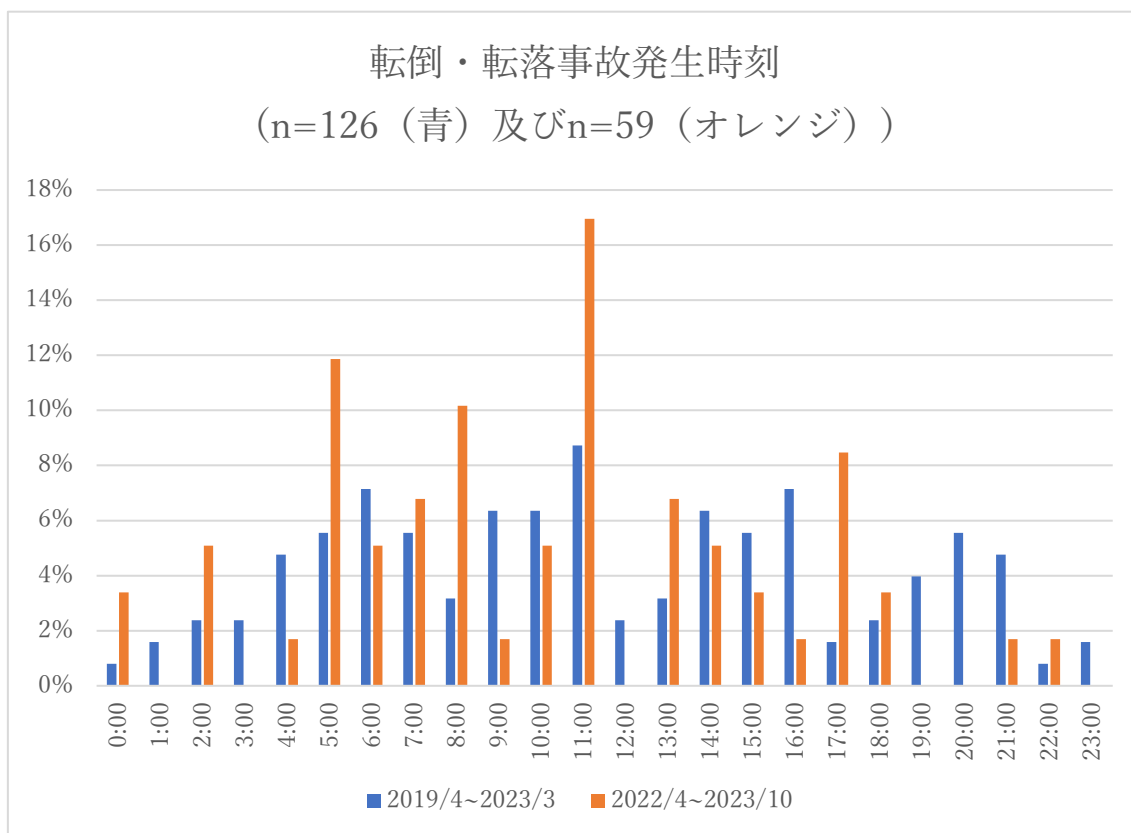
転倒・転落事故の起きた時間帯を見てみると、午前11時台に起きた事故が最も多く、次いで午前5時台、午前8時台という結果になりました。これについて、入居施設の一日のスケジュールと照らして考えると、以下のような状況が考えられます。

・午前11時台：朝食後、入浴やレクリエーションなどを行う自由時間となります。そのため、利用者の方の多くが自由に動き回る時間帯であると考えられます。対して、職員の方は入浴介助や昼食準備など、各々の業務に取り掛かり始める時間帯でもあります。

・午前5時台：起床前の時間帯。施設のスケジュール上の起床時刻は午前6時台であることが多く、利用者の方が起きてから、職員の方が実際に起床等の介助を始めるまでの空白時間になっていると考えられます。

・午前8時台：朝食前後の時間帯です。また、職員の方が申し送りやミーティング等で一か所に集まる時間帯でもあります。なお、前回集計時に事故が多くみられた午後16時台も同様に、職員の方が一か所に集まることの多い時間帯でした。

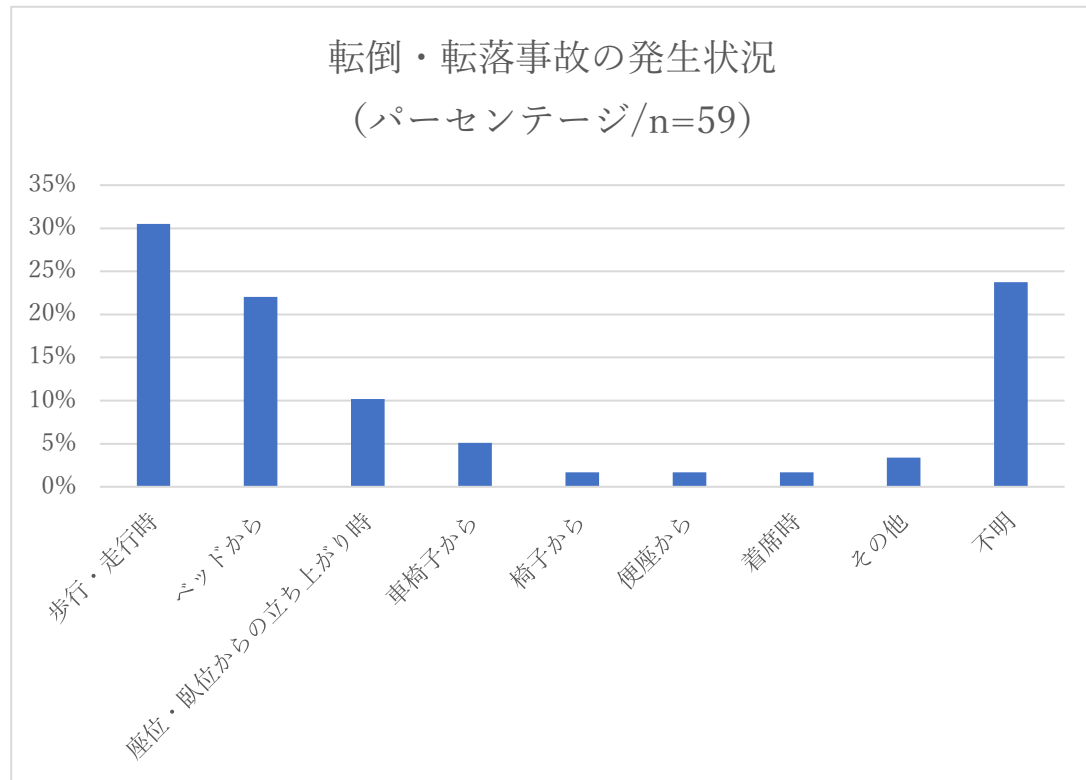
前年のデータと重ねると以下ようになります。



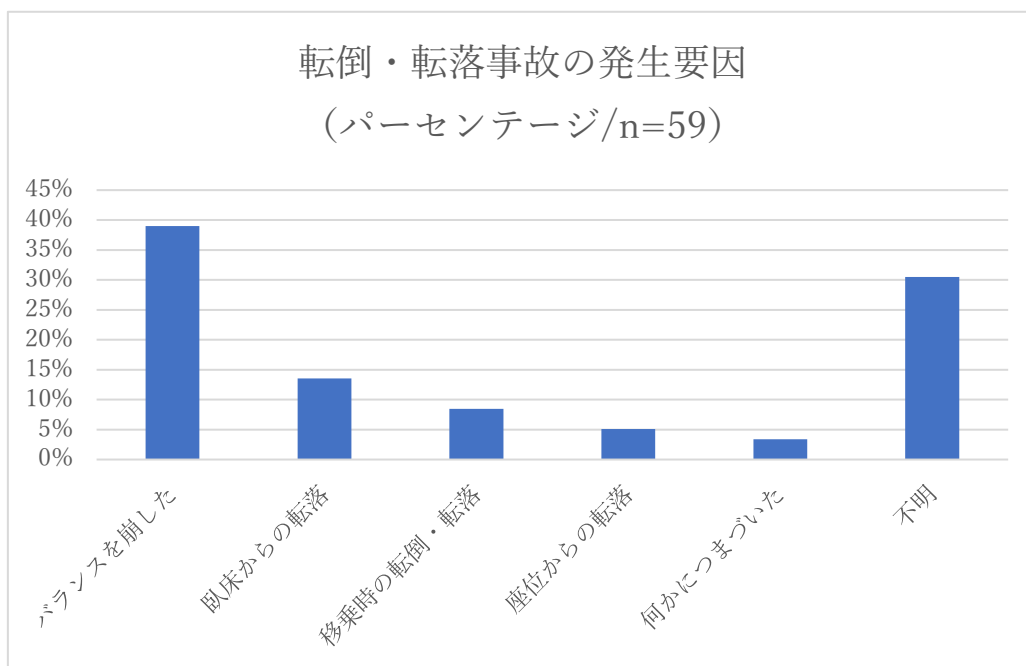
特に午前 11 時台は前年同様に事故の発生件数が極めて多い時間帯であることがわかります。

転倒・転落事故の詳細-転倒の発生状況・要因/受傷者の状況/発生場所

それでは、実際にどのような場面で転倒・転落事故が発生しているのでしょうか。転倒・転落事故に条件を絞り、事故の詳細をまとめました。



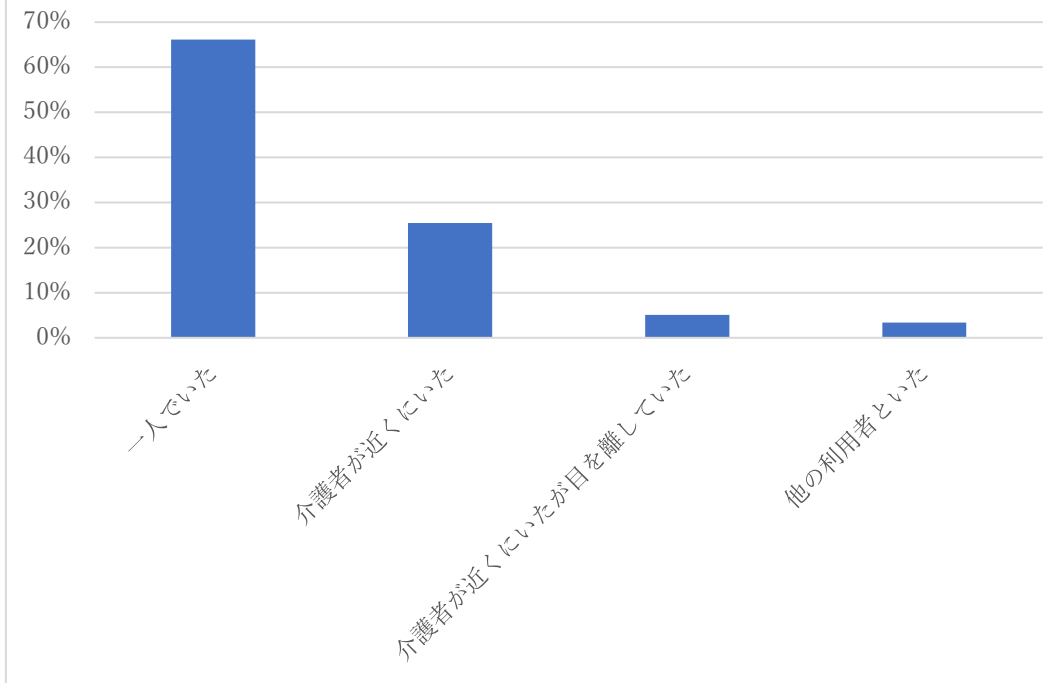
転倒・転落事故の状況として最も多かったのが「歩行・走行時の転倒」でした。次いで、「ベッドからの転落」が多くみられました。



転倒・転落の発生要因の多くは「バランスを崩した」ものによるものでした。先ほどの事故の発生状況のグラフと合わせて考えると、歩行時やベッドからの立ち上がり時にバランスを崩し転倒・転落した事故が多いのだと考えられます。

また、発生状況や転倒の要因が不明な事故も多くあります。発生状況が不明な事故（14件）の内、5件（約36%）が「居室」で、7件（50%）が「トイレ」で発生しています。

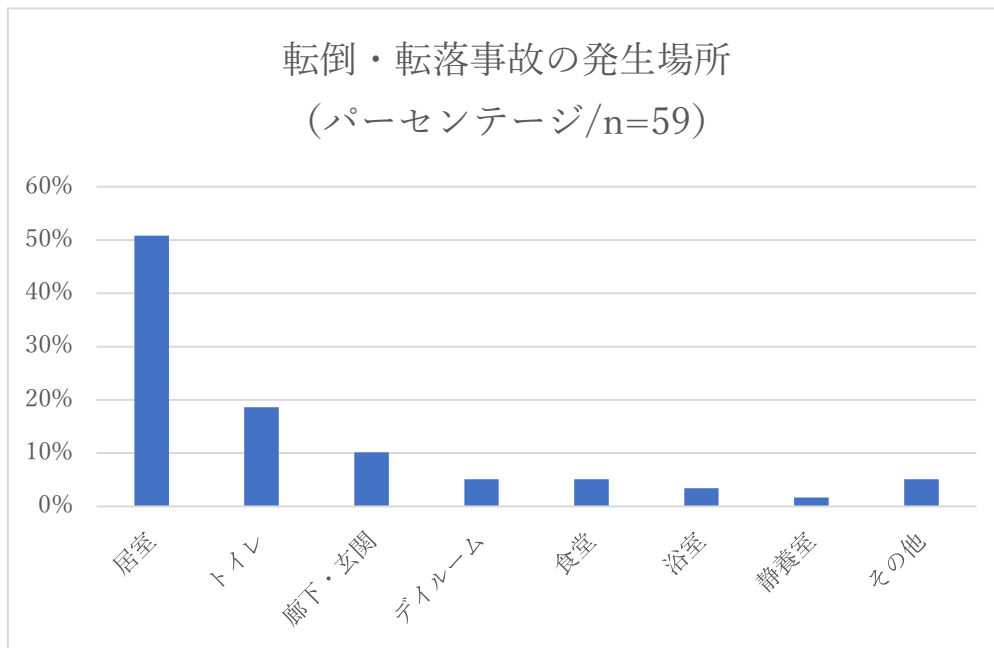
転倒・転落事故発生時の受傷者の状況
(パーセンテージ/n=59)



また、事故時に受傷者がどのような状況であったかについては「一人でいた」が最多になっています。前述の発生状況・要因のデータと統合すると、利用者の方が一人にいるときに移動や起き上がりのために動こうとしたタイミングでの事故が多いのだと見受けられます。

特に、居室やトイレなど、職員の方の目が届きにくい場所で発生した事故については、転倒の発生状況が正確に把握できないことも少なくないようです。

転倒・転落事故の詳細-発生場所



事故の発生場所としては「居室」が最多となりました。入居施設であることから、利用者の方の生活の拠点となる箇所での事故が多いのだと考えられます。

まとめ

・高齢者入所施設では、利用者の方が動き始めるような時間帯に、自ら移動しようとする利用者の方が転倒・転落する事故が多いと考えられる。また、事故の多い時間帯は、職員の方が自らの業務の為に動いている時間帯でもあると考えられる。

・転倒・転落事故に絞り込んで集計すると、利用者の方が一人にいるときに発生した事故が多かった。事故発生場所について見ても、「居室」や「トイレ」等職員の方の目が届きにくい場所で発生したものも多い。このような状況下で発生した転倒・転落事故では、実際の転倒要因や発生状況などがわからないまま、ということも少なくはない。

お問い合わせ先

〒604-8151 京都市中京区蛸薬師通烏丸西入橋弁慶町 227 第12長谷ビル 6F-A

株式会社 エスアールエム 福祉の保険 係 今村・新谷

TEL : 075-255-0883 FAX:075-255-0882

株式会社エスアールエムについて

- 株式会社エスアールエムは京都で 40 年続く保険代理店です。一般的な損害保険・生命保険の他、京都府域の福祉・介護分野に特化した保険の取り扱いも行っています。
- 弊社が取り扱っている「福祉の保険」は、その一つであり、京都府社会福祉協議会・京都市社会福祉協議会とともに運営しています。

中でも、「まごころワイド」は福祉事業所に向けた、賠償保険やお見舞金等を扱った保険です。本報告に使用した事故データはこの「まごころワイド」にて取り扱ったものです。



「まごころワイド」は京都府内の多くの福祉事業所にご利用いただいております。そのような中で、京都の福祉に資することは何かと考え、本報告をまとめさせていただきました。

- 「福祉の保険」ではこの他にも、ボランティアの方向けの「ボランティア保険」や、行事主催者の方向けの「福祉行事保険」も取り扱っています。株式会社エスアールエムの詳しい情報は、下記 QR コードからご確認頂けます。



株式会社エスアールエム HP はこちら↓



- お問い合わせ先

〒604-8151 京都市中京区蛸薬師通烏丸西入橋弁慶町 227 第 12 長谷ビル 6F-A
株式会社 エスアールエム 福祉の保険 係 新谷

TEL : 075-255-0883 FAX:075-255-0882 Mail : h-shintani@srm-net.co.jp